

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人神原苑 小野田障害デイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 16日		～ 令和 6年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 27日		～ 令和 7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員の勤続年数が長い為、利用者の特性や性格を理解、把握し、支援している。	利用者が来苑しても飽きないよう、余暇を充実できるように工夫している。特に1日利用時には、苑で過ごすだけでなく、ドライブや外出レクを実施する等し、活動が固定化しないよう工夫をしている。	将来就労に向けて実習内容を保護者から聞き取り、作業活動として取り入れ、卒業後を踏まえて取り組んでいる。
2	買い物学習を通して、社会性を身に付けたり、自分で好きな物(お菓子や弁当)を選択する機会を設けている。また、物品を購入するだけでなく振り返りをし、お金について理解を深められるように取り組んでいる。	野菜の苗から育て、収穫したものを調理して昼食等で料理をして食べる事で、野菜が出来る工程や、料理をすることで家事体験が出来るように取り組んでいる。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校ではタブレットを使用して学習を取り入れている。事業所ではタブレット等の電子機器がなく、紙媒体等で療育活動を行っている為、療育課題に限度がある。	アンケート結果より、「分からない」が多い項目について、どのように改善していくか具体的に検討する必要がある。	非常災害時の訓練は毎年実施しているが、未だ保護者に周知が不十分である。広報紙のみで発信している為、SNSも活用しながら、少しでも多く知ってもらえるよう工夫が必要である。
2		当事業所の契約利用者は中学生以上が多い為、小学生利用者の新規獲得が今後の課題である。	事業所参観や施設見学の実施はしているが、保護者同士が交流する場や利用者きょうだい同士が関われる機会がない為、検討する必要がある。
3			